

取組の目的・背景

釧路市内で工務店を営んでいた故五十嵐一雄さんが、戦後間もない昭和24年に事務所兼自邸として建築した住宅。ご本人亡き後、平成11年には取り壊しが検討されましたが、このことを知った石川郁代さんが買い取り保全しながら一般公開や貸し出しイベントを行ってきました。しかし、高齢だということもあり将来的なことを心配された所有者から建築士会釧路支部の会員に相談があったのをきっかけに令和元年に有志による旧五十嵐家住宅保存の会が発足し「活用しながら保存する」活動を行っています。

取組の内容

建物や庭の維持管理はもちろん、一般の方や学生への建物公開、レトロモダンな建物を活用した各種イベントなどへの貸館を行うとともに、会による演奏会などのイベントも開催しています。釧路支部では二建築士試験対策講座なども開催しました。

取組の成果

保存の会でイベントを開催し会員を募ることや、相談を受けた釧路支部会員の働きかけにより令和2年8月に国登録有形文化財に登録されたこともあり、多くの方たちにこの建物の価値を知ってもらうことができたと思います。

取組の課題と期待

今後はコロナ禍でのウィルス対策を実施しながら、会員数やイベント開催を増やし、建物などに必要な保全活動をどのように運営していくか？という課題があります。そこをうまくクリアして、飲食イベントも可能とするための設えをすることでの多様化に期待しています。

建築士としての関わり

保存の会発足時の幹事には4名の建築士がおります。国登録有形文化財登録への働きかけもそうですが、機能的かつ斬新でモダンなデザインをもつ古き建物を身近に感じることで学び考え、今後の活用や保存のチカラになるべく事業に関わっています。



URL

QRコード

[旧五十嵐家住宅保存の会 | Facebook](#)

